

第 11 章 山中地域の方針

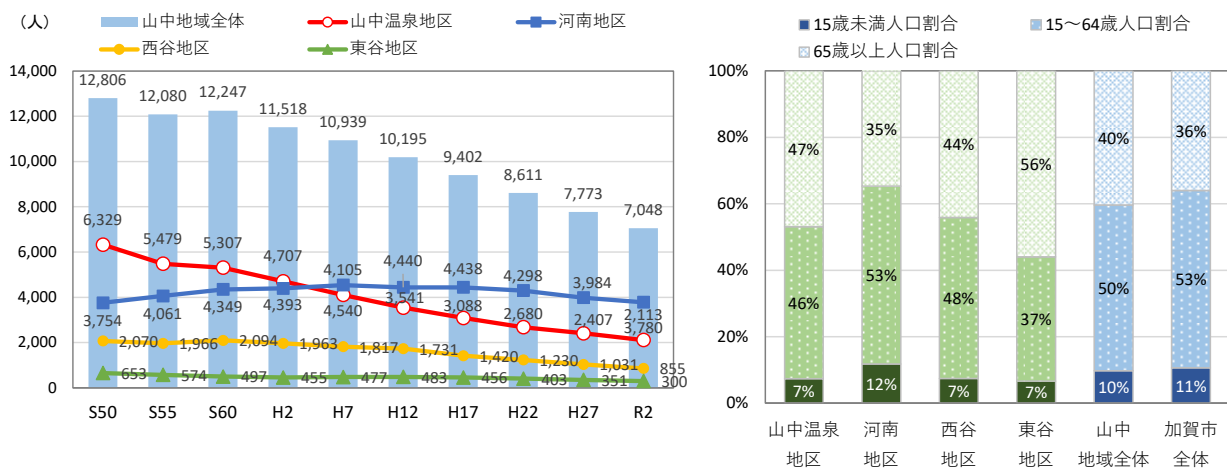
1) 山中地域の現況及び課題

(1) 人口

山中地域の人口は、昭和 50 年のピーク時から令和 2 年までの 45 年間で 5,758 人（45%）減少しています。

地区別の人口では、ピーク時と比較すると、山中温泉地区、西谷地区の減少割合が高くなっています。

年齢別の割合について、市全体と各地区を比較すると、河南地区を除いたすべての地区では、老年人口（65 歳以上）の割合が高くなっており、特に東谷地区の高齢化が顕著に見られます。



(2) 地域の特徴

自然

大日山を源とする大聖寺川と動橋川が地域を流れ、山中・大日山県立自然公園や県自然環境保全地域の指定を受ける山地及び鶴仙溪などの優れた自然景観を有しています。

歴史・文化

山中温泉とともに発展した山中漆器や山中節などに加え、九谷磁器窯跡、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている東谷山村集落などの多くの歴史文化資産が残されています。

都市基盤施設

一般国道 364 号や主要地方道山中伊切線などの幹線道路が地域内を通過しており、都市計画道路温泉中央南線の整備が進められています。また、山中温泉市街地には、四季折々の自然環境を楽しむ鶴仙溪公園などの都市公園のほか、図書館や文化会館などの公共公益施設が立地しています。

災害・防災

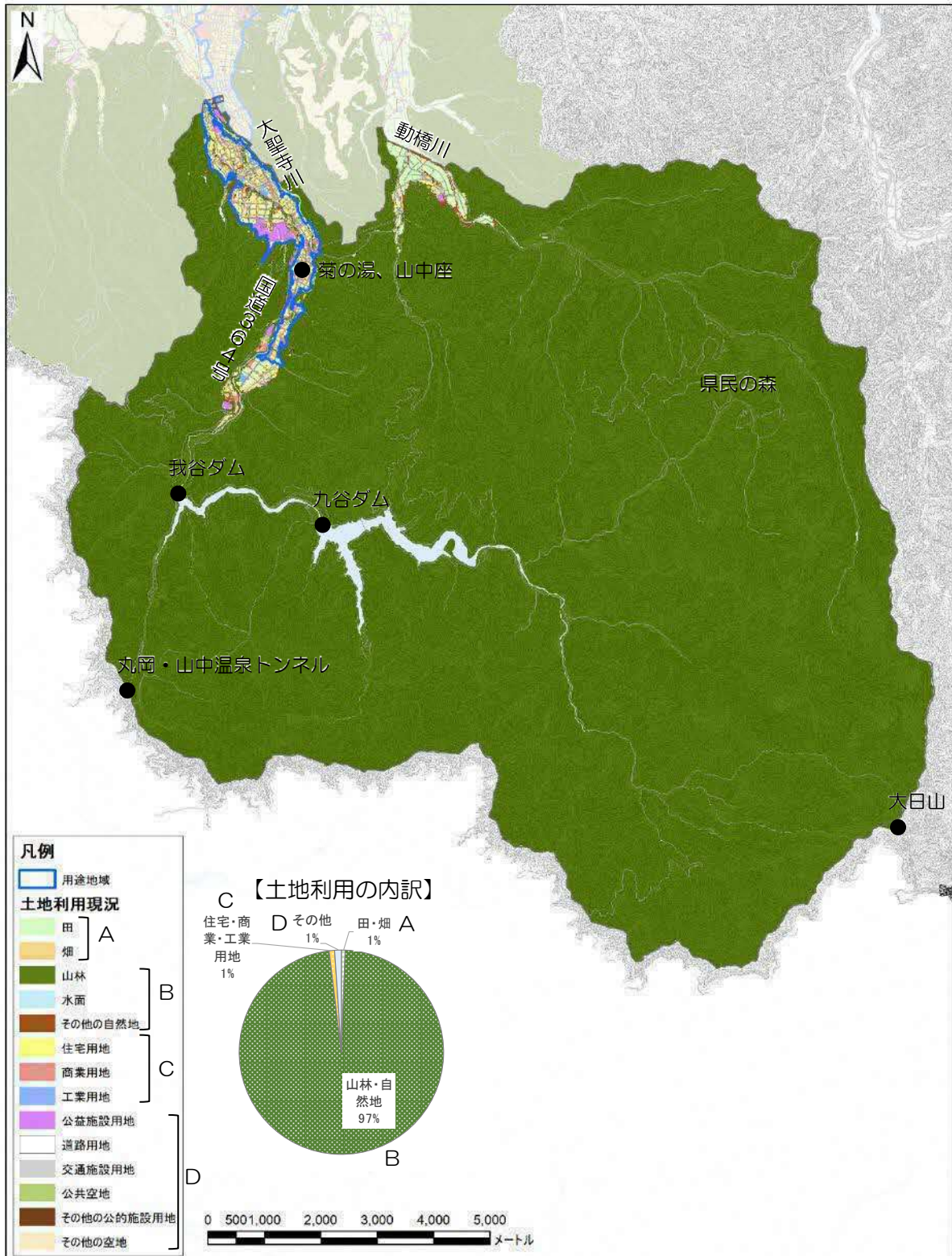
山間に形成された地域のため降雪量が多くなっており、市街地に隣接する山地には土砂災害特別警戒区域等が多くみられます。

(3) 土地利用

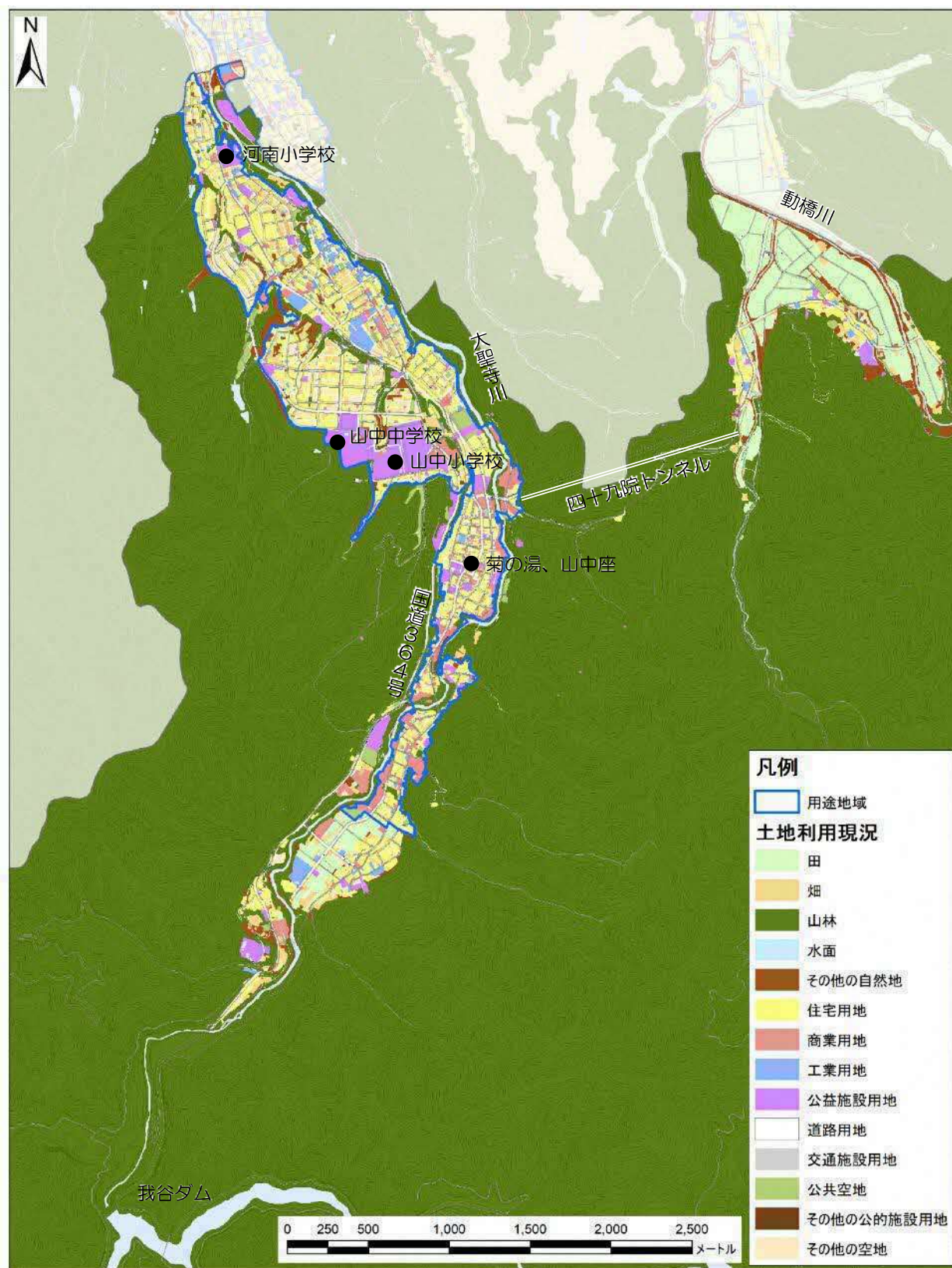
総湯菊の湯を中心に市街地が形成され、南北に一般国道 364 号が通っており、地域東部の山間部には農山村集落が形成されています。

地域南部には山林が広がっており、これを源とした大聖寺川と動橋川が地域を流れています。

【山中地域の土地利用現況図（全体）】



【山中地域の土地利用現況図（中心部拡大）】



(4) 市民アンケート調査による住民意向

温泉が地区の魅力として挙げられており、住まい環境については、防犯・防災に関して不安視する意見がみられるほか、開発については、空き地や空き家の活用が求められています。

工場については、住環境に影響がなければ地区内での立地を容認する意見が多いほか、商業施設については、徒歩圏に大型商業施設等がほしいとの意見が多く挙がっています。

緑、景観については、特に問題ないとの意見が多く、概ね満足されていることがうかがえるほか、道路については、雪に強い道路を求める意見、公園については、地区のイベント等ができる公園を求める意見、防災・防犯については、防犯対策を求める意見が多く挙がっています。

【地区の魅力】

| | | |
|---|-----------|-----|
| ① | 温泉がある | 72% |
| ② | 自然が豊か | 62% |
| ③ | 災害の心配が少ない | 24% |

【開発について】

| | | |
|---|-----------------|-----|
| ① | 空き地・空き家を活用すべき | 46% |
| ② | 農地等での多少の宅地開発はよい | 34% |
| ③ | 積極的に宅地開発を行うべき | 18% |

【住まい環境について】

| | | |
|---|----------|-----|
| ① | 防犯・防災上不安 | 37% |
| ② | 満足している | 32% |
| ③ | 災害が不安 | 30% |

【工場について】

| | | |
|---|--------------------------|-----|
| ① | 住環境に影響がなければ地区内に工場があっても良い | 47% |
| ② | 地区内には新たな工場の進出は望まない | 24% |
| ③ | 住環境に影響がなければ家の近くにあって良い | 18% |

【商業施設の状況について】

| | | |
|---|-------------------|-----|
| ① | 徒歩圏に大型商業施設等があると良い | 35% |
| ② | 特に問題ない | 28% |
| ③ | 生活必需品を扱う店舗が無くて不便 | 22% |

【道路や交通施設について】

| | | |
|---|-------------|-----|
| ① | 雪に強い道路が必要 | 42% |
| ② | まちなか駐車場が必要 | 30% |
| ③ | 安全で快適な道路が必要 | 25% |

【公園について】

| | | |
|---|----------------------|-----|
| ① | 地区のイベント等ができる公園が必要 | 32% |
| ② | 遊具・スポーツ施設等が充実した公園が必要 | 25% |
| ③ | 多目的に使える公園が必要 | 25% |

【緑について】

| | | |
|---|---------------|-----|
| ① | 特に問題ない | 52% |
| ② | 里山や森の自然を保全すべき | 24% |
| ③ | 街路樹はこれ以上必要ない | 18% |

【景観について】

| | | |
|---|---------------------------|-----|
| ① | 特に問題ない | 44% |
| ② | まちなみと調和した道路や街路樹により景観保全すべき | 18% |
| ③ | 里山や田畑などの風景を保全すべき | 18% |

【防災・防犯について】

| | | |
|---|------------|-----|
| ① | 空き家の防犯対策 | 25% |
| ② | 防犯灯・街路灯の充実 | 22% |
| ③ | 特に問題ない | 18% |

(5) 地域別懇談会からみる住民意向

細街路の拡幅や隅切りなどの安全な街路網の確保や、一般国道 364 号からの賑わいの誘導のほか、災害時の避難場所となる広場機能の確保が求められています。

また、狭隘道路の通行対策のほか、行政による除雪作業の充実などが求められています。

【地域別懇談会で出された意見の要旨】

| 区分 | 出された主な意見 |
|-------|--|
| 道路・公園 | ○細街路の拡幅や隅切りなどの安全な街路網の確保 ○一般国道 364 号からの賑わい誘導 ○災害時の避難場所となる広場機能の確保 |
| 公共交通 | ○のりあい号の PR 不足 |
| 環境・景観 | ○狭い宅地の解消 ○まちなかにおける住民向けの共同駐車場の整備 ○山中温泉地区の廃業旅館の解体促進 |
| 防災・防犯 | ○除雪体制の強化 ○除雪作業の担い手の確保 ○廃湯の活用など、冬期の融雪のための水量確保 ○山中温泉地区の地区会館の整備 ○安全な避難場所となる防災拠点の整備 |
| その他 | ○地域外への転出抑制 ○まちなかの定住の受け皿となる場所の確保、一体的開発 ○空き家の販売や解体などに対する行政サービスの充実 ○土地や建物の流動化の促進 ○ゆけむり健康村の機能維持 ○西谷・東谷地区の農地の活用方法の検討 |



(6) 山中地域の課題

地域が抱える課題は、全体構想をはじめ地域の現況や住民意向などを踏まえ、体系的整理して抽出します。

| 分 類 | 地域の課題 |
|--------------|---|
| 土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> ○定住促進をめざし、良好な住環境を保全しつつ、空き家や空き地を活用した、ゆとりある居住空間の創出 ○温泉街のまちなみ景観形成と鶴仙溪などの周辺景観の保全・活用 ○空き家や空き店舗などの活用 ○廃業旅館対策 ○狭い宅地の解消 |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ○定住促進と人口流出の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化 |
| 都市基盤施設 | <ul style="list-style-type: none"> ○(都)温泉中央南線の整備促進 ○下水道区域の見直し ○細街路における部分拡幅や隅切りなどの安全対策 ○公共交通の利便性向上 ○山中温泉地区の地区会館の整備 |
| 自然 | <ul style="list-style-type: none"> ○山中・大日山県立自然園や県民の森などの豊かな自然の保全と活用 ○鶴仙溪などの水辺空間の活用 ○山村集落とその背後の山林の保全 |
| 歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ○温泉文化資源の発掘と活用によるまちの魅力向上 ○九谷磁器窯跡と周辺地域の保存・整備 ○東谷山村集落の伝統的建造物の保存 |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある温泉街の整備、温泉産業の振興 ○漆器産業の振興、山中漆器を活用したまちづくり ○農山村集落における農地活用 |
| 災害・防災・ 防犯 | <ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害対策の推進 ○除雪体制の強化や消融雪装置の充実による雪に強い地域づくり ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策 ○災害時の拠点となる施設や広場の確保 |

2) 山中地域の将来都市像

(1) 将来都市像

温泉や伝統産業を活かし豊かな自然と共存する、情緒あるコンパクトなまち

漆器産業と住居が共存した市街地や山間の自然風景と調和した温泉街の形成に加え、鶴仙溪や総湯菊の湯、山中座などの地域資源を活かした、回遊性があり情緒と魅力が集約された地域を目指します。

また、地域全体に広がる山間部の自然環境や農山村の景観を保全するとともに、冬期の積雪対策など、行政と地域住民が協働した防災まちづくりを推進します。

(2) 実現に向けた基本方針

○情緒ある温泉街の形成

総湯菊の湯や山中座周辺の良い景観を形成し、鶴仙溪とゆげ街道を歩いて周れる歩道などを整備するほか、山中節などの伝統文化の息づかいが感じられる、情緒があり賑わう温泉街づくりを進めます。

また、まちづくり運動や住民交流の活性化の支援のほか、定住促進を図るため、良好な住環境と職住近接のまちづくり推進に加え、スマート化を意識した利便施設の誘導により、コンパクトな市街地の形成を図ります。

○漆器産業の振興

温泉とともに発展してきた山中漆器産業の振興を図り、温泉観光や農村集落の活性化のため、ろくろ体験などの拠点施設整備による工芸のまちづくりを目指すほか、歴史と文化をしのばせる名所・旧跡をつなぎ、漆器に関連する拠点の整備を図ります。

○郊外集落の活性化とコミュニティの維持

農山村集落においては、公共交通の確保や地域活動の支援などにより、集落の活性化とコミュニティの維持を図るほか、里山の自然環境や景観を保全し、自然体験や休養・レクリエーションの場としての活用、森林資源の保全・育成を図ります。

○地域住民と協働で行う安心して暮らせるまちづくりの推進

防災拠点となる施設整備を検討するとともに、通学路の安全対策などにより児童・生徒などの安全を確保するほか、冬期の除雪体制や消融雪設備の充実を図り、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、山間部など、災害の危険が想定される区域においては、土砂災害対策を推進します。

○道路や公園等の整備と活用

主要地方道山中伊切線線（(都)温泉中央南線）の整備促進や温泉市街地での広場整備及び活用など、都市基盤を充実することにより、魅力ある住みやすい市街地環境を整えます。

3) 山中地域のまちづくり方針

(1) 土地利用の方針

居住地区

丘陵部の一戸建て住宅や共同住宅を中心とした住宅地は、閑静な住宅地として、住居以外の建物の混在を抑制し、周辺の自然環境と調和した快適な住環境の保全と充実を図ります。また、市街地に多く存在する空き家は、空き家バンクへの登録を推奨し、積極的活用を図り、特に傷みの激しい空き家は、管理者による撤去などの対策を促進します。

幹線道路沿いは、建物用途の混在による居住環境の悪化を抑制する一方、商店や小規模な工場などと住宅が共存した、地場産業を支える住宅地の充実を図るほか、旧山中温泉医療センター跡地については、社会経済情勢やスマート化の動向を見ながら、今日的課題を踏まえてあり方を検討します。

沿道利活用地区

一般国道 364 号などの沿道は、良好な景観保全や周辺住宅地と調和した適切な土地利用に配慮しつつ、交通利便性を活かした施設の立地を誘導します。

温泉文化地区

温泉旅館や商店が連なる市街地では、温泉と名所・旧跡などの歴史資源及び地場産業である漆器産業などを活かした魅力ある温泉街づくりに加え、賑わい創出や回遊性の向上を図るほか、空き家は積極的に店舗などに活用してもらうことで、地区の魅力向上と賑わい創出を図ります。

また、総湯菊の湯周辺の中心部は、賑わいを創出する菊の湯前広場の有効活用を図るほか、ゆげ街道や本町通り、湯の本町通りなどは、歩行者が安全に楽しく歩ける道路空間を活用し、地域住民による商店街の活性化や景観の保全・創出を推進します。

工業集積地区

山中漆器団地は、地域の基幹産業である漆器産業と住居が共存した市街地の形成とともに、生産や流通などの利便性向上により、漆器産業の活性化と安定した雇用機会の創出を図ります。

田園・集落地区

農村集落では、周囲の田園や山林との共存を維持し、周辺部での開発抑制を図るほか、優良農地を保全するとともに、農産物の高付加価値化や地産地消を推進し、地域の農業の振興を図ります。

また、道の駅（山中温泉ゆけむり健康村）については、物販品の充実などにより魅力づけを行いながら施設の機能維持を図るほか、今後の利活用やあり方について検討します。

山間保全活用地区

大日山や富士写ヶ岳を頂きを持つ広大な山間部は、水源涵養地や多様な動植物の生息区域として、自然環境の保全を図ります。

県民の森は、豊かな森林と清流を活かした野外レクリエーションや休養・自然教育の場として、自然環境の保全と自然と調和した活用を図ります。

歴史文化地区

東谷地区の加賀東谷重要伝統的建造物群保存地区においては、山村集落が残る中山間地として、山村独自の建造物群の保存や人々の営みによって形成された山村景観を保全します。

(2) 都市基盤整備の方針

(2-1) 道路の整備方針

幹線道路

福井県（坂井市）に連絡する重要な幹線道路として、一般国道 364 号（山中温泉栢野町）の線形改良や拡幅を関係機関に働きかけます。

主要地方道山中伊切線（(都)温泉中央南線）の整備促進を関係機関に働きかけ、総湯菊の湯を中心とした情緒ある温泉街が形成されるよう、行政と地域住民が協働で進めます。

生活道路

市街地や集落における幅員の狭い道路や線形の悪い道路については、周辺の景観への配慮に留意しつつ、通学や防災、交通安全面から優先度を定めて、順次、拡幅や線形改良、見通しの改善を行います。

自動車と自転車、歩行者の空間が混在している路線については、路線の状況に応じた歩車空間の共有化により、それぞれの安全性を確保します。

まちなか道路

温泉市街地やこおろぎ橋、あやとりはし、黒谷橋、鶴仙溪などを巡る道路については、観光客が大聖寺川の溪谷美を楽しめる散策ルートとして位置づけ、安全かつ快適な通行空間を整備します。

(2-2) 公共交通の方針

バス交通は、温泉山中線及び山代大聖寺線の維持や、観光周遊バス（キャン・バス）の維持及び市民利用の促進を図ります。

バスのない地区においては、デマンド交通の運行により運行本数やサービス内容の改善につとめ、分かりやすい運行情報の提供や利用促進を図ります。また、地区の利用状況に応じ、停留地点、運行本数などを見直し、MaaS などデジタル技術を活用することでサービスの質向上を図ります。

(2-3) 公園・緑地の整備方針

県民の森は、公園内の自然環境の保全と自然教育・休養や野外レクリエーションの場として、機能充実を図ります。また、本地域では、風致公園や街区公園、その他の身近な広場等が整備されており、利用者ニーズの対応とユニバーサルデザイン化による利用しやすい公園の充実を図ります。

これらの公園・緑地・広場の維持管理は、地区住民等によるアドプトプログラムでの維持管理を促進し、施設の適正管理と地区住民の愛着醸成を図ります。

(3) 環境保全・形成の方針

自然環境の保全

地域南部の森林は、水源の涵養や水土保全などの公益的機能が持続的に発揮されるよう、保全に努めるとともに、多様な動植物の生息地として、特に重要な区域は、自然環境保全地域や鳥獣保護区の指定により保全を図ります。

山中・大日山県立自然公園や県民の森、水無山、富士写ヶ岳などは、自然教育・休養や野外レクリエーションの場として活用を図ります。

生活環境の保全・形成

市街地周囲の森林や溪谷は、風致地区の指定により良好な環境を保全します。

市街地に立地する工場や作業場は、周辺の居住環境に配慮します。

市民や事業者の理解と協力を得ながら、民有地における緑の保全と育成を図り、河川や道路を緑の軸とした、沿道空間の緑のネットワーク形成を誘導します。

(4) 景観保全・形成の方針

自然景観

温泉市街地を囲む風致に優れた森林や鶴仙溪は、地域の魅力の重要な要素として、景観保全に努めます。

歴史・文化的、伝統的景観

栢野大杉や九谷磁器窯跡などの歴史文化資産の周辺において、良好な景観を保全します。

赤瓦と煙出しのまちなみ、特徴的な石垣などの伝統的建造物が残る東谷地区は、山村集落の景観保全を推進します。

眺望景観

市街地や集落からの富士写ヶ岳などの山並み眺望を保全するため、視点場から景観阻害要因となる家屋等の規制・誘導を検討します。

市街地景観

ゆげ街道を中心とした景観整備地区（南町、湯の出町、湯の本町、こおろぎ町）では、景観形成基準に沿った建築物の規制・誘導により、温泉街として統一された、情緒あるまちなみ景観の形成に取り組み、市街地の中心部である総湯菊の湯周辺の景観向上のため、地区指定を広げます。

(5) 防災・防犯の方針

災害の未然防止

地域内に点在する土砂災害が懸念される箇所での防災対策をはじめ、地域内に点在するため池などの洪水対策、森林管理に必要な林道整備など、自然災害の減災を図ります。

雪害対策として、一般国道 364 号をはじめとした幹線道路の重点的な除雪を働きかけるとともに、通学路や生活道路の優先的除雪など、迅速かつ効率的な除雪体制を市民と協働で構築します。

排雪場や融雪水の確保、流雪溝の整備により、円滑な除雪作業に関する環境づくりに努めます。

被害抑制

豪雨や地震による土砂災害などの大規模災害に備え、学校などの災害避難拠点や、避難場所となる公園などの防災機能強化に努めるほか、安全な避難経路の確立を図ります。

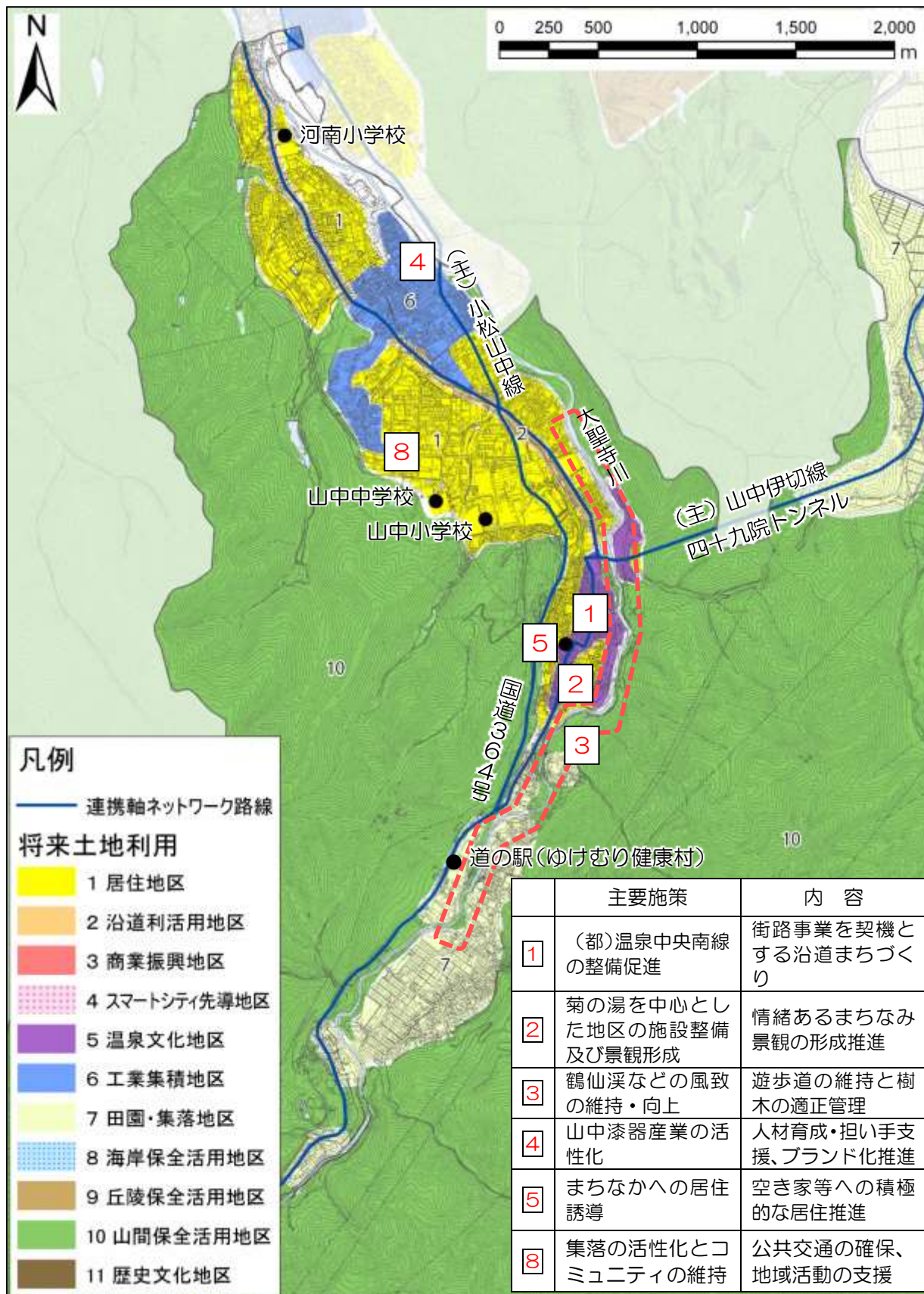
市街地の建物密集地では、建物の耐震化促進のほか、生活に必要な施設の耐震化整備や市街地及び集落における消防水利施設の充実を図ります。

交通安全・防犯

市街地における見通しの確保や自動車への注意喚起と速度抑制による交通の安全確保を進めるほか、防犯灯の設置や老朽空き家の撤去の促進などにより、安全で安心なまちづくりを推進します。

市街地における路上駐車対策として、市街地外縁部における共同駐車場の整備を検討します。

【山中地域のまちづくり方針図（中心部拡大）】



【山中地域のまちづくり方針図（広域）】

